や まさき

下宇原福祉連絡会が交通安全キャンペーン!

メッセージ付きのキーホルダー

暑さに負けず　子どもたちが交通安全を呼びかけました

下宇原福祉連絡会では、自治会内を走る県道432号(宇原新宮線)で、8月27日(土)、「夏の交通安全キャンペーン」を実施しました。

この日のために、子ども会といっしょに作った交通安全のキーホルダーを、県道を通過する車に「安全運転にご協力ください」と、声かけをしながら子どもたちが配付しました。

その後、公民館へ移動し、老人会のみなさんといっしょに、宍粟警察署と戸原駐在所のおまわりさんから自転車のマナーを中心に交通安全の指導を受けました。

これには、普段から地域の見守り活動をされている「下宇原ホットパトロール」や戸原小学校の先生も参加。地域の交通安全をみんなで考える場となり、より安全意識が高まる取り組みとなりました。

このように、地域全体で世代を超えお互いに注意し見守り合うことで、地域のつながりを強くする活動になっています。

(山崎支部　森井裕矢)

「どっちやったかな」おまわりさんから自転車のマナーについての○×クイズが出題されました

い ちのみや

おまつりたのしかった!
やすらぎ夏まつり

東日本大震災での被災状況を特別上映。そして、災害ボランティア等被災地支援活動を写真で紹介

8月21日(日)、一宮保健福祉センターやすらぎを会場に「やすらぎ夏まつり」を開催し、子どもから高齢者まで約200名が来場しました。

サマーライブでは、「ドラえもんのうた」や「おどるポンポコリン」など、宍粟市のギターサークル『ACOSTY(アコスティ)』による生演奏に、いっしょに口ずさむ子どもたちの姿が多く見られました。

また縁日コーナーでは、民生委員児童委員、ボランティア連絡会、高校生などの協力により、ポップコーンや綿菓子、ヨーヨー釣り、くじ引きなどの出店が用意され、「おまつりたのしかった」との声が口々に聞かれ、楽しいひと時を提供することができました。

催しの売上金は、東日本大震災の義援金として寄付しました。

(本部・一宮支部　波多野好則)

お菓子やおもちゃ、文房具など豪華賞品(?)が当たる「ビンゴ大会」をおまつりの締めくくりに…

会場には“し~たん”が登場!

読者の感想より　「山高街の駅」1周年おめでとう。地域の活性化に活躍されている様子、感動しました。ぜひ一度イベントに参加してみたいと思います。　(一宮町　女性)